

留学だより✧

Vol.1 Aug

みなさん、こんにちは、14期生の大里です。私は、次世代リーダー育成道場の10期生として8月12日に日本を出発し、アメリカのミシガン州に留学しています。今後10ヶ月に渡り、留学だよりを更新していきますので、ぜひ楽しんでください。

【出発前夜から現地ホテル到着まで】

当日は、朝早くに成田空港集合だった為、満を持して成田に前泊をしました。水分たっぷりの野菜とさっぱりした出汁を求めて温野菜にて晚餐。その後、駄菓子を存分に楽しみました。緊張もせず、ちょこっと旅行に行くような感覚でした。

翌日、空港で準備をしていると、友人が見送りに来てくれました。想像以上の人数に驚くと同時に、その空間の幸せを噛み締めました。それも束の間、スーツケース一つが重量オーバー、ラクロスのスティックが超過荷物として論吉が飛び立ちました。私よりも先に。

約半日のフライトを経て、アメリカのイリノイ州オヘア空港に正午前に到着。飛行機の窓からはシカゴのビル群の影が。ホテルはHiltonで、さすが次世代だなと思った記憶があります。



※水平線は湖です！



Hilton、ご飯が美味しい。



私がいる場所

【ホストファミリーに会うまで】

ホテルに一泊し、心の準備をする間もなく慌ただしく出発しました。その後、何とバスで7時間移動。いくら寝ても着きません。寝て、心の準備をして、スナックを食べて、おしゃ

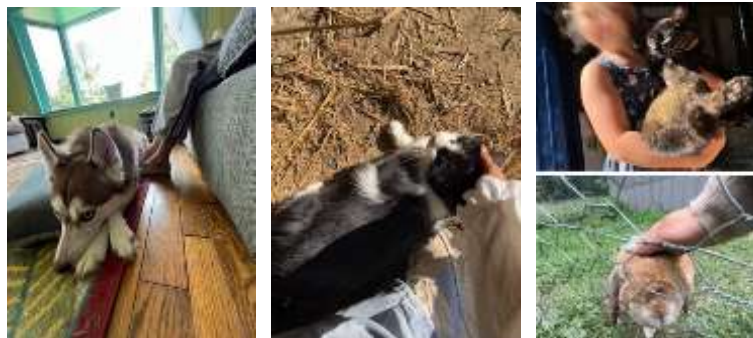
べりして、雨が止んで、それでもまだ着きません。地図上ではすぐそこなのに。アメリカの広さをこの身で感じた最初の瞬間（ではなく長時間）でした。

長旅の末、ようやくホストファミリーと対面。MIREI と書かれた大きなプラカードを掲げて、笑顔で出迎えてくれました。そこからは車で家まで移動しました。車内には音楽が響き、徐々に増えていく緑に心を躍らせました。

【ホストファミリーについて】

・家族構成

両親、15 歳、12 歳、10 歳のホストブラザー、6 歳のホストシスター、ハスキー、ウサギ、懐いた野良ネコ（多分 2 匹、実態は不明）、カメ、と大家族です。ホストマザーがホームスクリーングをしているため、子どもがさらに増えて合計 8 人が一つ屋根の下にいるという今現在。笑いが絶えません。



今の私の足元。良きカイロです 彼らへの餌やりが毎朝の日課

・暮らし

だだっ広い庭にポツンと小屋と家が建っています。朝、遠くの森に霧がかかって幻想的な景色を遠目に、裸足でシスターと庭でかけっこをします。なんて贅沢な暮らしなのだろう、と毎朝のように思います。



私の部屋です



庭にポツンと小屋ひとつ

週に4回ほど、朝、近くの（と言っても車で15分）農場に一仕事しに行きます。馬、ロバ、ヤギ、鶏、豚、牛、猫、犬、沢山の虫たち。様々な動物の鳴き声がこだまする中、馬に餌をやり、牛の草を運び、鶏の卵を回収し、ロバたちに挨拶をし、犬と戯れます。気のせいでしょうか、色々な動物がこぞって私に寄って来るのです。（多分気のせいです。）



食事はそこまでファストフードではありません。野菜もあり、スナックもフルーツや体に良いチップスなどで、広い庭でいくらでも遊べます。何かを買いに行くにも車で10分はかかるので、高カロリーのお菓子に辿り着くことも、そうそうありません。何と健康的な暮らしでしょう。太ると思っていましたが、むしろ痩せるのでは、そう願っています。

・コロナ

私のホストファミリーはコロナに気をつけている方なので、室内のみマスクをつけます。ただ、こまめな消毒や手洗いはそこまでしません。街に出ても、表立った規制は全くありません。

【いざ、デトロイト】

デトロイトと言えば、治安の悪さを想像する方もいるのではないのでしょうか。しかし、行ってみると素敵な街でした。車で1時間半程かけて、デトロイト川に到着しました。何と対岸にはすぐそこにカナダが見えるのです。大陸を感じました。（？）

至るところにウォールペインティングが施され、そこら中にアメリカ国旗があります。川沿いを爆音の音楽と共に駆け抜ける自転車、黄色い薔薇を片手に歩くカーリーヘアの女性、Hi!という軽快な挨拶ですれ違う人々。街の賑やかさにどこか親近感を覚える一方で、そこにいる人々ののどかさに異世界感を感じました。自分がその中にいるということが何とも不思議な感覚なのです。



街に馴染む LGBTQ + アライの旗



川沿いを歩くホストブラザー達

【アメリカを感じたこと】

- ・飛行機から見た住宅地が、同じデザインの家が等間隔に並んでいたこと。(計画的開発。)
- ・マスクをする/しないは個人の選択であり、人それぞれです。マスクをしているからといって、不思議がられることはありません。
- ・いつでもどこでも他人同士で話していること。(Nice shirt! はリアルです。)
- ・天気予報が°Cではなく°Fで表示されるということ。数字の大きさにびっくりです。(ちなみに最近最高でも 27°C程で、乾燥しています。)
- ・日本のように軟水ではなく硬水であるということ。シャンプーが泡立ちません。また、シャワーとバスタブの蛇口の水道管が一緒のためか、同時にお湯を出せません。(分かる人には分かりますよね。)
- ・エージェンシーのスタッフが、片手にスタバ、身ひとつでふらっと現れたこと。(開放的な雰囲気良かったです。)
- ・日が暮れるのが夜 10 時頃ということ。(夏ですね。)
- ・夜ではなく時間がある日中にシャワーをすること。(なんだか歯痒いですが、それがこちら

の文化です。適応しました。これも学びです。)

・親が子どもに honey, kid, child, children と日常的に呼びかけること。(家族の一員だからと、私のことも honey と呼んでくれます。)

・ホストファミリー特定の話にはなりますが、個人個人を尊重していて、6歳の子供でさえ人を客観視していること。家族一人ひとりをどういう人か説明してくれました。

・ストレート同士以外の恋愛も当たり前ドラマに出てきて、それを家族みんなで見るということ。また、家族団欒の空間や友達の輪で当たり前 LGBTQ+ の話が出るということ。

(家庭によるとは思いますが。問題について話すのではなく、イベントや恋愛など、至ってありふれた日常会話です。なんて心地が良いのでしょうか。)



街中に溢れるレインボーフラッグ

家の窓にも

最後まで読んでくださりありがとうございました。来月から始まる学校の話も、また留学
だよりでしたいと思っています。お楽しみに！

大里

Aug 27, 2022